

別紙2 配当等の所得税徴収高計算書の様式及び記載要領
(第1片)

国税 収納金 資金 (納付書) 整理	令和 年度 32349	配当等 所得稅徴収高計算書	領収済通知書	(記入例) ¥1234567890	
令和 年 月 日 支払確定 年月日		税務署名 税務署番号		税務署使用欄 整理番号	
令和 年 月 日 支払うべき 年月日		千 百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円 金額		令和 年 月 日 支払 年月日	
配当等の種類 下記の「コード表」から配当等の種類のコードを選んで記入してください。	区 分	支 払 額	税 額		
	非課税適用分及び上場株式等の配当等の支払の取扱者への支払分	千 百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円	百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円		
	総合課税等適用分(合計)	千 百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円	百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円		
	うち 内国法人に対する支払分	千 百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円	百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円		
	支払未済金額	千 百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円	百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円		
1 剰余金 2 剰余金 3 剰余金 4 剰余金 5 剰余金 6 剰余金	利益金の の分配 の分配 の分配 の分配 の分配 の分配				
所在地 (電話番号 - -) 徴収義務者 名称 様(御中)		本 税		延 滞 税	
摘要		合計額		◎ 合計額の金額頭部には必ず「¥」字を枠の中に記載してください。	
		あて先		◎ この用紙は直接機械で処理しますので活したり折り曲げたりしないでください。	

納期等の区分

令和 年 月

支払分源泉所得税及び復興特別所得税

証券受領 日使用欄

内 証券受領 円
証券番号
振出人

(領収日付印)

左記の合計額を領収しました。

数字は記入例を見て黒のボールペンで力を入れて枠からはみださないように記載してください。

国庫金

(第2片)

国税 収納金 整理 資金

32349

令和 年度
□ □

税務署名
税務署

配 領 収 控

税務署番号
□ □ □ □ □ □ □ □

税務署使用欄
□ □ □

整理番号
□ □ □ □ □ □ □ □

納期等の区分
令和 年 月
□ □ □ □ □ □
支払分源泉所得税
及び復興特別所得税

証券受領 日 録 使用欄
全額 一部 □ □ □ □ □ □ □ □

内 証券受領 円
証券番号
振出人

(領収日付印)
左記の合計額を領収しました。

国庫金

所在地 (電話番号 - -)
徴収義務者 名称
様(御中)

本 税	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
延 滞 税	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
合 計 額	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

円

(第3片)

国税 納金 資金
整理

配 当 等 の 配 領 収 証 書
所得税徴収高計算書(写)

32349

令和 年度

税 務 署 名 税 務 署 番 号

税 務 署 使 用 欄

整 理 番 号

支 払 確 定 年 月 日 支 払 上 げ 金 額 支 払 年 月 日

配 当 等 の 種 類	区 分	支 払 額			税 額		
		千 百 十 億	千 百 十 万	千 百 十 円	百 十 億	千 百 十 万	千 百 十 円
下記の「コード表」から配当等の種類のコードを選んで記入してください。 1 剰余金 2 剰余金 3 剰余金 4 剰余金 5 剰余金 6 剰余金	非課税適用分及び上場株式等の配当等の支払の取扱者への支払分						
	総合課税等適用分(合計)						
	うち 内国法人に対する支払分						
	支 払 未 済 金 額						

国庫金

徴収義務者 名称 様(御中)

所在地 (電話番号 - -)

摘要

納期等の区分

令和 年 月

支払分源泉所得税及び復興特別所得税

証券受領 日 領 用 欄

内 証 券 円

本 税 延 滞 税 合 計 額

◎ 日本銀行(本店・支店・代理店・歳入代理店(郵便局を含む。))又は税務署の領収日付印が押されているかお確かめください。

(領 収 日 付 印)

左記の合計額を領収しました。

(第3片裏面)

記載のしかた

この納付書は、居住者や内国法人に支払い又は交付する配当等(法人課税信託に該当しない投資信託及び特定受益証券発行信託の収益の分配並びに租税特別措置法第37条の11の6第1項に規定する源泉徴収選択口座内配当等に該当するものを除きます。)について源泉徴収をした所得税及び復興特別所得税を納付するときに使用してください。(納税の告知により納付する税金については、この用紙を使用しないでください。)

「年度」、「税務署名」、「整理番号」、「納期等の区分」及び「合計額」の各欄の記載漏れのないよう注意してください。

<p>配当等の種類</p> <p>「コード表」から配当等の種類に応じたコードを選んで記載してください。</p>	<p>年 度</p> <p>会計年度(毎年4月1日～翌年3月31日)を記載してください。</p>	<p>税 務 署 名</p> <p>所轄の税務署名を記載してください。(税務署番号の記載は必要ありません。)</p>	<p>【支払確定年月日】及び【支払うべき金額】</p> <p>配当等の支払の確定した日及びその日において確定した支払金額をそれぞれ記載してください。</p>	<p>【支払年月日】</p> <p>配当等について支払い又は交付した年月日(同じ月に2回以上あるときは、最後の支払年月日)を記載してください。</p>	<p>整理番号</p> <p>貴社の整理番号を間違えないように記載してください。</p>
--	---	---	---	--	---

配当等で、所得税法又は租税特別措置法の規定により特別措置が適用される場合、第9条の3各号に掲げるもの(源泉徴収の対象となるもの)の取扱いを記載してください。

課税分を記載してください。

総合課税等適用分のうち、内国法人に支払う配当等について記載してください。

納期等の区分

配当等を支払い又は交付した年月を記載してください。ただし、支払確定後1年を経過した日において未払となっている配当等については、その1年を経過した日の属する年月を記載してください。

【本税】

「税額」の項の計を計算して記載します。

合計額

金額を書き誤ったときは新しい納付書に書き直してください。

徴取義務者

貴社の所在地及び名称を記載してください。

納付について

○ 税金は、配当等を支払い又は交付した月の翌月10日までに最寄りの金融機関又は所轄の税務署の窓口で忘れずに納付してください。

納期限までに納付されない場合には、延滞税や不納付加算税などを負担しなければならないことがあります。

○ この納付書は、3枚1組の複写式になっていますから、切り離さずに納付場所に提出してください。

【摘要】 資産の流動化に関する法律第115条第1項に規定する金銭の分配(中間配当)については、「摘要」欄に「中間配当」と記載してください。

○ 記載事項についてお分かりにならない点などがありましたら、最寄りの税務署にお尋ねください。